

## 「町田市産業振興計画19-28」後期実行計画の策定について

「町田市産業振興計画19-28」で目指す将来像の実現に向けて、2024年度から2028年度までの5年間で実施する具体的な取り組みを示す、後期実行計画を策定したことについて報告します。

### 1 「町田市産業振興計画19-28」について

町田市産業振興計画19-28



#### (1) 計画期間

2019年度～2028年度



#### (2) 計画の位置づけ

町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりプラン（現：まちだ未来づくりビジョン2040）」を上位計画とし、「町田市産業振興基本条例」に基づき、2019年3月に策定しました。本計画に位置付ける施策については、「町田市観光まちづくり基本方針」や「町田市中心市街地まちづくり計画」「町田市農業振興計画」等の関連計画と連携しながら取り組みます。

#### (3) 目指す将来像と施策の柱

「町田市産業振興計画19-28」では、「立ち上げる」・「拡げる」・「つなぐ」の「3つのチャレンジ」の促進・支援と、「ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり」からなる4つの施策の柱を設け、これらの柱に基づく取り組みを推進することで「ビジネスに、働く人に、心地よいまち」を目指します。

#### 【将来像】

ビジネスに、働く人に、心地よいまち

【計画全体の指標】 付加価値額の増加      現状値: 5,416億円(2016年)

#### 【目指す姿】

たくさんの新しい企業やビジネスが誕生し、起業・創業がしやすい風土が根付いている。

新分野・新技術への進出や異業種間連携等きっかけに、市内事業者のイノベーションが促進され、自社や地域の強みを生かした他にはない新しい価値が生み出されている。

将来を見据えた人材育成と円滑な事業承継により、市内事業者の優れた技術・ノウハウが次世代に受け継がれている。

それぞれのライフスタイルに合った多様な働き方が実現できるまちとして、多くの人に選ばれている。まちに賑わいがあり、ビジネスに適したまちとして多くの事業者に選ばれている。

#### 【指標】

開業率の上昇  
(経済センサスに基づき算出)

計画策定時  
6.4%(2014年～2016年)

#### 【指標】

1事業所あたりの付加価値額の増加  
(経済センサスから)

計画策定時  
5,070万円(2016年)

#### 【指標】

事業所数の維持  
(経済センサスから)

計画策定時  
12,106事業所(2016年)

#### 【指標】

昼夜間人口比率の上昇  
(国勢調査から)

計画策定時  
91.7%(2015年)

#### 【施策の柱】

##### ”立ち上げる”チャレンジ

新たに事業を立ち上げるチャレンジを支援します。

##### ”拡げる”チャレンジ

事業者が競争力を高めるチャレンジを支援します。

##### ”つなぐ”チャレンジ

事業を継続し、次世代へ承継するチャレンジを支援します。

##### ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり

チャレンジを促進するための環境づくりを推進します。

## 2 「町田市産業振興計画19-28」後期実行計画の策定経過

### (1) 策定方針

- ・「目指す将来像」、「施策の柱」、「施策」、「個別施策」は変更しない。
- ・「個別施策」に基づく具体的な取り組みについて見直しを行う。





### (2) 策定方法

2022年度の「町田市産業実態調査」を通じ、町田市産業を取り巻く状況や支援ニーズ、課題を把握・分析するとともに、「前期実行計画」の取り組み状況等を踏まえ、町田市産業振興計画推進委員会から意見聴取した上で策定する。

#### 町田市産業振興計画推進委員会の経過

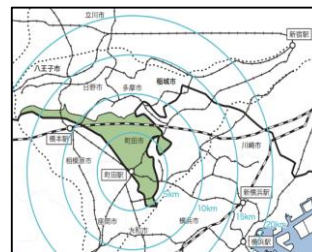
	開催日	内容
第1回	2023年 4月26日(水)	・「後期実行計画」の策定方針について ・「前期実行計画」の取り組み状況について ・町田市産業実態調査の結果について
第2回	2023年 6月28日(水)	・「後期実行計画」の骨子案について
第3回	2023年 8月 4日(金)	・「後期実行計画」の具体的な取り組み案について
第4回	2023年 9月20日(水)	・「後期実行計画」の素案について
第5回	2023年11月16日(木)	・「後期実行計画」の素案について
第6回	2024年 2月 2日(金)	・「後期実行計画」の案について

## 3 「町田市産業振興計画19-28」前期実行計画の取り組み状況

『立ち上げる』チャレンジ		『拡げる』チャレンジ	
<b>指標</b> 開業率の上昇		<b>指標</b> 1事業所あたりの付加価値額の増加	
<b>【計画策定時】</b> 6.4% (2014年～2016年)	<b>【現状値】</b> 6.3% (2016年～2021年)	<b>【計画策定時】</b> 5,070万円 (2016年)	<b>【現状値】</b> 4,960万円 (2021年)
個別施策数 : 11 ◎(予定以上に進んでいる) 6施策 ○(予定通りに進んでいる) 5施策 △(予定以上に進んでいない) 0施策 ◎及び○の割合 11施策/11施策  (すべての施策が◎か○)		個別施策数 : 15 ◎(予定以上に進んでいる) 9施策 ○(予定通りに進んでいる) 4施策 △(予定以上に進んでいない) 2施策 ◎及び○の割合 13施策 / 15施策  (◎と○が8割以上)	
<b>目指す将来像</b> ビジネスに、働く人に、心地よいまち		<b>目指す将来像</b> ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり	
<b>指標</b> 付加価値額の増加		<b>指標</b> 昼夜間人口比率の上昇	
<b>【計画策定時】</b> 5,416億円 (2016年)	<b>【現状値】</b> 5,309億円 (2021年)	<b>【計画策定時】</b> 91.7% (2015年)	<b>【現状値】</b> 90.3% (2020年)
<b>指標</b> 事業所数の維持		<b>指標</b> 昼夜間人口比率の上昇	
<b>【計画策定時】</b> 12,106事業所 (2016年)	<b>【現状値】</b> 11,694事業所 (2021年)	<b>【計画策定時】</b> 91.7% (2015年)	<b>【現状値】</b> 90.3% (2020年)
個別施策数 : 16 ◎(予定以上に進んでいる) 4施策 ○(予定通りに進んでいる) 9施策 △(予定以上に進んでいない) 3施策 ◎及び○の割合 13施策 / 16施策  (◎と○が8割以上)		個別施策数 : 14 ◎(予定以上に進んでいる) 7施策 ○(予定通りに進んでいる) 3施策 △(予定以上に進んでいない) 4施策 ◎及び○の割合 10施策 / 14施策  (◎と○が8割未満)	

#### 4 町田市の産業を取り巻く状況

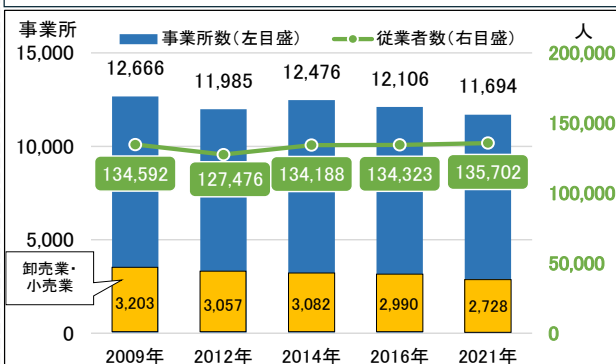
- ▶人口:約43万人(2024年2月) → 2024年をピークに減少(推計)
- ▶年少人口の転入超過数 → 政令指定都市を除いて全国第1位(2022年)
- ▶昼夜間人口比率:90.3%(2020年) → 昼間人口の流出が多い
- ▶小田急小田原線1日平均乗降人員:約24.6万人(2022年度) → 新宿に次ぎ第2位
- ▶JR横浜線1日平均乗車人員:約9.5万人(2022年度) → 横浜線で第1位
- ▶事業所数[参考(1)]:11,694事業所(2021年) → 多摩26市で第2位、23.3%が小売業・卸売業・小売業
- ▶付加価値額[参考(2)]:5,309億円(2021年) → 多摩26市で第4位
- ▶製造品出荷額[参考(3)]:864億円(2021年) → 多摩26市で第11位
- ▶年間商品販売額[参考(4)]:6,532億円(2021年) → 多摩26市で第3位
- ▶開業率[参考(5)]:6.3%(2021年) → 多摩26市で第3位
- ▶町田市中小企業融資制度における年間新規融資実行額:約40億円(2022年度)  
→ 金融機関との連携により、市内経済に資金供給
- ▶支援のネットワーク:町田創業プロジェクト、日本弁理士会との連携協定、町田市事業承継推進ネットワーク等



(参考) 町田市産業の状況 (出典: 経済センサス)

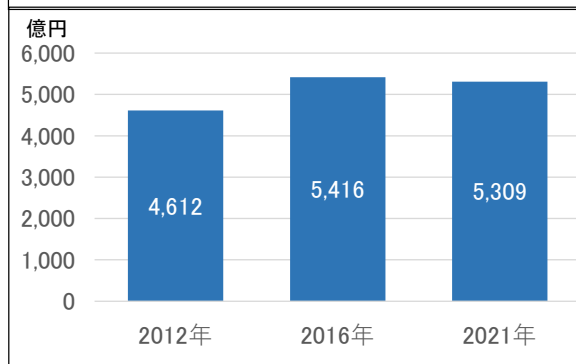
##### (1) 事業所数・従業者数

市内の事業所数は2014年度以降減少傾向です。このうち、「卸売業・小売業」は2016年から2021年にかけて約8.8%減少しています。また、コロナ禍等の影響により、「宿泊業・飲食サービス業」の事業所数の減少率(約20%減)が大きくなっています。従業者数は2014年度以降横ばい傾向です。



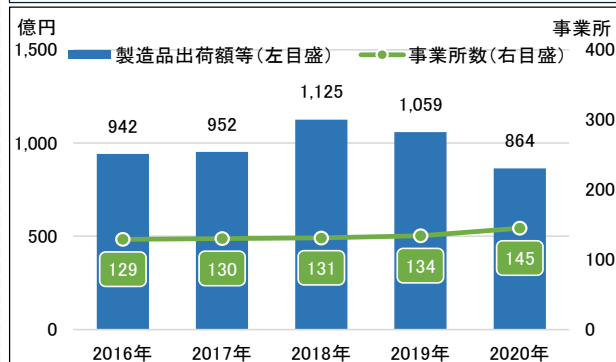
##### (2) 付加価値額

市内の付加価値額は、2012年から2016年にかけて増加しましたが、2021年は減少しています。産業別では、2016年から2021年にかけて「建設業」「医療、福祉」が増加した一方、「運輸業、郵便業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」等の減少が大きくなっています。



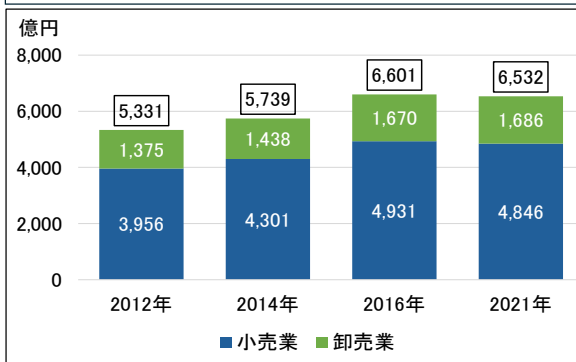
##### (3) 製造品出荷額 ※従業者数4人以上の事業所

市内製造業の事業所数は2016年以降増加傾向です。また、製造品出荷額は2018年をピークに減少しており、はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等の減少率が大きくなっています。



##### (4) 年間商品販売額

市内の年間商品販売額は、2012年から2016年にかけて増加しましたが、2021年は減少しています。小売業の事業所数が減少していることや、インターネット通販等により、小売業の年間商品販売額が減少していることが考えられます。



(5) 町田市の開業率（近隣市との比較）

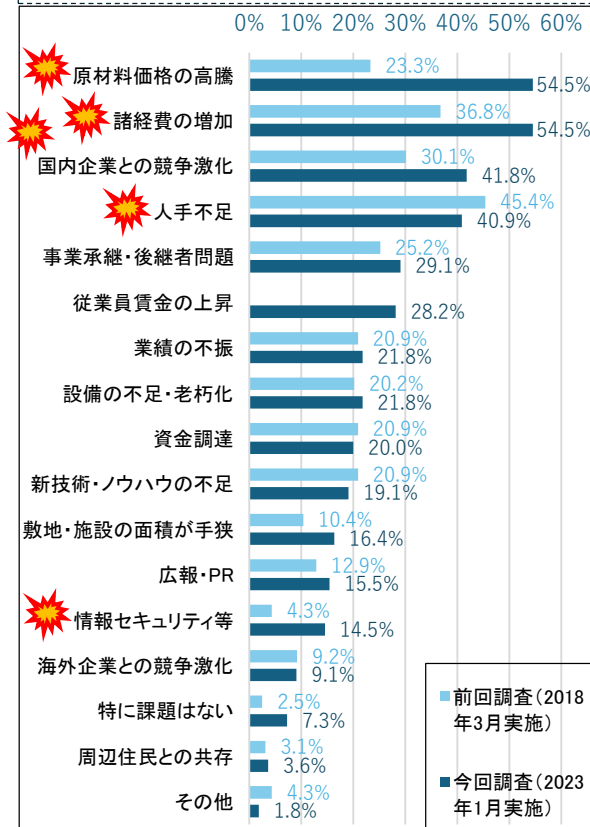
町田市の開業率(2016年～2021年)は6.3%です。近隣市との比較では、川崎市(5.7%)、八王子市(4.4%)、相模原市(4.4%)よりも高くなっています。また、多摩26市平均(4.9%)よりも高くなっています。多摩26市では、立川市(6.8%)、武蔵野市(6.5%)に次いで、第3位となっています。

順位	都市名	開業率		都市名	開業率	
		2012年→2014年	2014年→2016年		2016年→2021年	
1	多摩市	10.0%	立川市	7.4%	立川市	6.8%
2	町田市	8.2%	町田市	6.4%	町田市	6.3%
3	横浜市	8.0%	横浜市	5.9%	多摩市	6.1%
4	立川市	7.5%	多摩市	5.3%	横浜市	5.8%
5	川崎市	7.4%	川崎市	5.5%	川崎市	5.7%
6	八王子市	7.1%	八王子市	5.2%	八王子市	4.4%
7	相模原市	6.5%	相模原市	4.6%	相模原市	4.4%
	東京都平均	8.5%	東京都平均	6.2%	東京都平均	6.5%
	多摩26市平均	7.1%	多摩26市平均	5.2%	多摩26市平均	4.9%
	全国平均	6.3%	全国平均	5.0%	全国平均	4.6%

5 市内事業者が抱えている課題（2022年度事業者アンケート結果） ※複数回答可

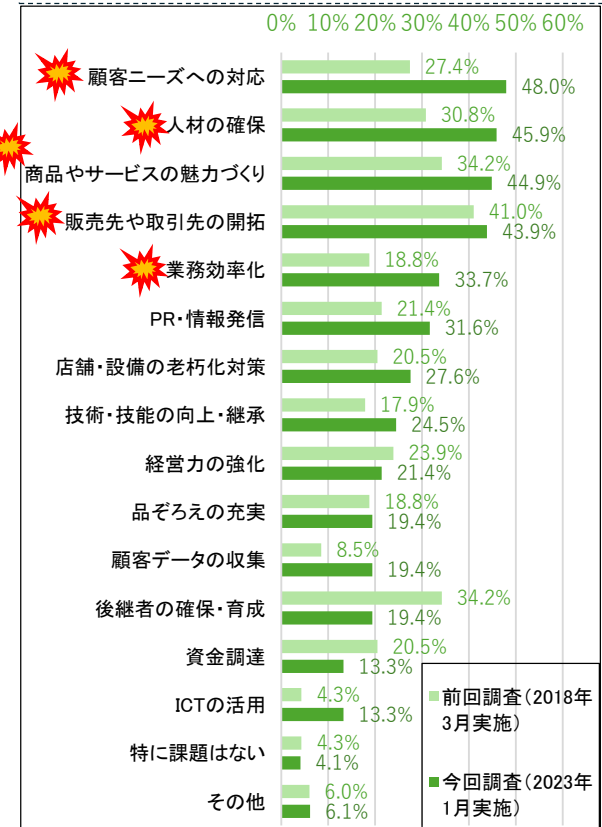
(1) 製造業等の事業者

製造業等では、「原材料価格の高騰」「諸経費の増加」「国内企業との競争激化」「人手不足」の割合が大きくなっています。前回調査からは、「原材料価格の高騰」「諸経費の増加」「国内企業との競争激化」「情報セキュリティ等」等が増加しています。



(2) 商業等の事業者

商業等では、「顧客ニーズへの対応」「人材の確保」「商品やサービスの魅力づくり」「販売先や取引先の開拓」の割合が大きくなっています。前回調査からは、「顧客ニーズへの対応」「人材の確保」「商品やサービスの魅力づくり」「業務効率化」等が増加しています。



6 「町田市産業振興計画19-28」後期実行計画の主な取り組み

★:新規 ◎:拡充 ○:継続

	施策	個別施策	主な取り組み	
「立ち上げる」チャレンジ	1) 起業・創業の魅力を伝える	①幅広い世代に向けた起業・創業の魅力発信	○まちだキッズアントレプレナープログラム ○中・高生向けセミナー	引き続き、起業創業の魅力を発信
		②起業・創業への第一歩を支援	○まちだ創業スクール ○まちだ女性創業スクール	
	(2) 想いを形にするためのサポート	①起業・創業の実現に向けたニーズに沿った支援	○町田創業プロジェクトによる創業セミナー、相談対応	町田創業プロジェクトの着実な推進
		②起業・創業支援の担い手の拡充	○民間創業支援機関同士の連携セミナー ★市内コワーキングスペース等との連携した情報発信	
	3) 起業・創業後の事業拡大を後押し	①起業・創業初期の経営支援	○交流の場づくり、マッチング支援	セミナー等の支援情報を発信
		②起業・創業後の事業拡大に向けた資金調達支援	○クラウドファンディング支援 ○町田市中小企業融資制度「創業資金」	
「拡げる」チャレンジ	(1) 新分野・新技術への進出を後押し	①産業財産権に関する啓発・取得の支援	◎産業財産権取得費用補助 ○知財セミナー、知財無料相談会	対象要件を「創業後1年」から「創業後3か月」に前倒し
		②環境変化に応じた商業事業者等の販売促進の支援	○デジタルマンツーマン支援事業 ◎カタログギフト事業の推進	
		③新しいビジネスモデルや新技術の導入に挑戦する事業者を支援	◎新商品・新サービス開発事業補助 ★研究機関等の実験機器借用費用補助	
	2) 独自の「強み」を磨く取り組みをサポート	①自社の技術を生かし、競争力を高める取り組みを支援	◎トライアル発注認定制度の拡充 ○ビジネスアドバイザー派遣	対象要件を「創業後1年」から「創業後3か月」に前倒し
		②町田の特色や強みを生かした商品・サービスの開発、ブランド化の促進	○町田の好きなお店大賞 ○まちだシルクメロン活用商品の認定	
		③営業支援や展示会出展支援を通じた販路拡大の促進	◎産業見本市出展費用補助 ○ビジネスアドバイザー派遣	
	(3) 異業種・異分野との連携による新たな価値の創出	①異業種・異分野との連携機会の創出	○交流・連携イベントの開催	異業種・異分野の連携を促進・支援
		②連携による新たな価値の創出に関する支援	○新商品・新ビジネスの創出を支援	
	「つなぐ」チャレンジ	(1) 安定した事業継続をサポート	①コスト削減や売り上げ向上の取り組みを支援	○町田商工会議所経営指導員の巡回・窓口相談
②業務の効率化・生産性向上を促進			○e-tax活用支援の実施 ◎事業者のDX、GX化を支援	
③事業継続の課題解決に向けた取り組みを支援			○経営課題等に応じた専門家個別相談会の開催 ○危機管理対策に関するセミナー・ワークショップ	
(2) 次代を担う人を育てる		①将来を担う人材の確保を支援	◎事業者の人材確保・定着に向けた支援を拡充 ★「合同企業説明会」等の開催	東京都、ハローワーク、町田商工会議所と連携し、人材確保を支援
		②人材育成やキャリア形成に関する支援	○新入社員研修の実施 ○「MachiBiz」等の開催	
(3) 円滑な事業承継を推進		①事業承継に対する早期の対策の促進	◎事業承継推進ネットワークによるセミナー及び相談 ○市内事業者への事業承継に関する調査	事業承継に関する相談機会を拡充
	②事業承継や後継者育成に関するニーズに応じた支援	○事業承継推進ネットワークによるセミナー、相談会		
	③事業承継マッチングや事業承継手続きに関する支援	○町田市中小企業制度融資「事業承継資金」		
ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり	(1) 働きやすいまちづくりの推進	①多様な働き方を実現するための環境づくり	○労働関連セミナー ★市内コワーキングスペース等の情報発信	多様な働き方ができる環境を情報発信
		②心地よく働き続けることができる環境づくり	○町田市勤労者福祉サービスセンター事業	
	(2) 「選ばれるまち」としての魅力を高める	①事業者サポート体制の充実	○経営課題等に応じた専門家個別相談会	市内中小企業の魅力発信
		②多様な資金調達の支援	○クラウドファンディング支援	
		③市内におけるオフィスや工場の新設・規模拡大を支援	○企業等立地奨励制度	
		④町田の特色や強みを生かした事業者の集積を促進	○中心市街地活性化奨励制度	
		⑤町田で働く魅力の発信	◎表彰基準の見直し	
		⑥産業支援に関する有効な情報発信	○イベント出展や情報提供 ★地域経済現況調査の実施	
	(3) まちの賑わいを生み出す	①コト・トキ・モノ消費を楽しむことができる「商店街」の育成支援	○商店会が実施するイベント等を支援 ○市内商店街スタンプラリーの開催	市内産業を巡る課題を毎年度把握
②町田の産業の魅力発信		○キラリ☆まちだ祭りなど、各種イベントを通じ、市内産業(企業、商品、サービス等)をPR		

## 7 計画の推進に向けて

計画の推進にあたっては、前期実行計画に引き続き、市に加え、町田商工会議所や町田新産業創造センターをはじめとした各産業支援機関、金融機関、大学等の教育機関、民間事業者などが担い手となり、互いに連携しながら各事業に取り組みます。

また、毎年度、町田市産業振興計画推進委員会を開催し、取り組みの円滑な推進と計画の進捗管理を行います。

